

# 平成30年度 第四回 根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成31年3月28日（木）午後6時30分～午後7時30分

2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室

3. 出席者 【市政モニター】 10名

【市 側】 7名

市長、総務部長、市民福祉部長、介護福祉課長、防災主査  
広報広聴主査、広報広聴担当

## 4. 開会挨拶（市長）

本日は今年度最後の市政モニター会議となる。今年度は「防災・減災」と「高齢者福祉」をテーマにモニターの皆さんから活発なご意見をいただいているところだが「防災・減災」については千島海溝沿いではマグニチュード9クラスの超巨大地震が切迫していると言われており、災害発生時、被害を最小限に抑えるため万全の備えをすることは行政の責務であり極めて重要な行政課題の一つであると認識している。また、急速に高齢化が進む中でまちづくりにおける「高齢者福祉」の必要性は高まることが予想され、本市でも高齢者を地域で支える地域包括ケアシステムの構成を目指しているが課題も多く、増加する高齢者をどのように支えて行くのか今後皆さんと知恵を絞っていく必要がある。

本会議は市民皆さんの意見を市政に反映させることを目的としており、本日いただく提言は今後の市政運営に生かしていきたいと考えているので忌憚のないご意見をよろしく願いしたい。

## 5. 提言書手交

### ●広報広聴主査

意見交換の前に平成30年度根室市市政モニター会議提言書の手交を行う。市政モニター会議より石垣市長へ手交いただきたい。

### ◎モニター（D）

市民と市がともに住みよいまちづくりを目指すためモニター一人ひとりが意見を出し合い提言書をまとめた。この提言を市政運営の参考にしていただきたい。

～提言書手交～

## 6. 以下、会議詳細

### ●広報広聴主査

意見交換を始めるにあたり、先ほど提出された提言書の内容の説明をお願いします。

### ◎モニター（D）

提言書 別紙の通り

提言について説明

## 防災・減災

### （提言1）地域防災力について

町会間で防災意識に違いがあることや町会のような地域同士の連携の重要性が意見として出された。

災害時に地域に求められる役割は大きなものだと考えられる。十分な地域防災力の向上につながる策をとっていただきたい。

### （提言2）災害時の情報発信について

昨年9月に発生した胆振東部地震に伴うブラックアウトにおける行政の対応について意見が多く出された。災害時の情報伝達はとても重要でありインターネットを使える環境にない高齢者などを含め正確な情報を伝えられるようにしていただきたい。

### （提言3）防災備蓄品について

各家庭において災害に備え備蓄することも大切だと思うが、大規模災害時には行政の備蓄に頼ることが大きくなると想定される。必要量を把握し適正に管理いただきたい。

### （提言4）総合防災訓練について

現在行われている総合防災訓練は関係者による訓練が中心で市民が参加しにくいことが意見として出された。当然、関係機関の連携確認など従来の訓練も必要と考えるが、要介護者、障がい者を含め市民が参加しやすい、より身近な訓練となるよう実施方法の見直しを検討いただきたい。

### （提言5）避難所・避難場所について

実際の災害時にどこに避難すればよいのかの周知が十分でないこと、洋式トイレの整備など高齢者等に配慮した避難所運営をお願いしたいなどの意見が出された。

## 高齢者福祉

### （提言1）高齢者を地域で支える体制について

高齢者を地域で支えることの大切さについて意見が出た一方、個人情報取り扱いやコミュニティの希薄化など問題も多いとの意見も出された。行政として仕組みづくりなど支援をお願いしたい。

## (提言2) 高齢者福祉に関わる人材の確保・育成について

市内介護施設における労働力不足は深刻な問題となっている。元気な高齢者や外国人労働者など多様な人材の参入を促進するなど行政としても人材確保に向けた支援をお願いしたい。

## (提言3) 高齢者福祉サービスについて

高齢者人口の増加に伴い、高齢者福祉に対するニーズが多様化している中、介護保険サービスではカバーしきれない部分もあり、高齢者の移動手段と除雪についての意見が多く出された。更なる高齢者福祉サービスの充実を図っていただきたい。

## (提言4) 施設介護について

現在は介護施設に入所を希望してもすぐに入所できない状況である。各施設の対応人数、入所状況などの情報発信、共有していただくとともに介護施設の充実を図り希望者がすぐに入所できるような環境づくりを整備していただきたい。

### ●広報広聴主査

いただいた提言について各担当課から現時点での市の考えを回答する。

### ●防災主査、介護福祉課長

回答要旨 別紙の通り

### ●広報広聴主査

ただいまの回答や全体を通してモニターの皆さんからご意見等あれば発言をお願いする。

### ◎モニター (G)

市政モニター会議のスケジュールについて、新年度予算が議会で承認され、すでに新年度に向け動き出しているこの時期になってから提言書の提出というのはあまりにも遅すぎるのでは？

提言書として意見を出したところで結局、市政に反映されるのは翌々年度からとなってしまう。

例えば12月議会前などに提言書を提出し意見を翌年度予算に組み込めるような市政モニター会議であってほしいと強く願う。

### ◎モニター (E)

市の実態として市政モニター会議内で出た案を実際に推進してくような仕組みになっているのか？

大きな案件は来年度からというのは分かるが、やはり、すぐにできるものであればスピード感をもって対応していただきたい。

### ●市長

現状の市政モニター会議のシステムは一年間かけてモニター皆さんの意見を聞き、市政に反映する。という仕組みになっている。会議での意見を予算に反映できるかどうかの話については、今回のテーマである「防災・減災」「高齢者福祉」の両方、予算のフレームがあるものであり、一年間、4回にわたる各担当との論議の中ですぐに実施できるというものは、ある程度の対応されることになると思う。しかし、ものによっては全く新しい予算の枠組みが必要になる場合も考えられる。ご意見のあった予算

編成との関わりというものは今後検討していきたい。

◎モニター（H）

自分の町会には防災士の資格を取った人がいる。周りは防災のことについてはその人を頼っていて日頃から防災について考える機会となっている。このような資格を有する者を増やしてはどうか。

●防災主査

防災士の資格を取るには札幌市や釧路市で行われる講習を修了した後、試験に合格する必要がある。

●市長

講習を受講するためだけに札幌市や釧路市に出向くのは大変だ。一定の受講者数を集め、根室市で講習を実施できるようにすることも良いかも知れない。

7. 閉会挨拶（市長）

この度は貴重な意見を提言いただきありがとうございます。市政に反映できるよう努めていく。提言書に対する詳しい回答については後日文書にてお知らせするが、モニターの皆さんからはまた貴重なご意見をいただきたいと思います。本日は忙しい中参加いただき誠にありがとうございました。

8. 閉会